

PREMIUM

2級建築士

学科 スーパー本科コース

2024

日建学院

「受講生ファースト」

合格にこだわり続け50年以上
実績に裏付けされた
“ノウハウ”が
日建学院にはあります。

日建学院の「合格へのこだわり」をご覧ください。

INDEX



TOPインタビュー P04-05

合格実績 P06-07

日建学院の歴史 P06-07

合格へのこだわり01

なぜ日建学院は「映像学習」なのか? . . . P08-09

合格へのこだわり02

日建学院が誇る講師陣 P10-11

合格へのこだわり03

本づくりのプロが生み出すオリジナル教材 P12-13

合格へのこだわり04

一目瞭然の試験分析データ P14-15

合格へのこだわり05

万全のサポートシステム . . . P16-17

合格者の声 P18-21

合格までの年間スケジュール P22-23

学科 講義内容 P24-25

「スーパー本科」のココが凄い! P26-27

「製図」も日建学院! . . . P28-29

ポイント網羅のオリジナル教材 P30

制作者のこだわり P31

設計製図 講義内容 . . . P32-33



TOP Interview

開校以来、建築士・宅建士・各種施工管理技士

合格者輩出数

58万人

突破!

合格実績にこだわる日建学院

株式会社建築資料研究社は、1969年に建設関連の出版事業を創業して以来、多くの皆さまにご愛顧いただき、2024年8月に創立55周年を迎えます。

創業者／馬場瑛八郎は、日本大学 工学部 建築学科を卒業後、

設計事務所に勤めながらも苦勞して一級建築士を取得し、

『これから建築士取得を目指す方々に同じ苦勞をさせたくない』その思いから

資格受験予備校「日本建設実務学院」が設立されました。（現在の日建学院）

私も大学の建築学科を卒業後、建設会社で現場管理の仕事をするかたわら

日建学院に通い一級建築士、一級建築施工管理技士を取得しました。

仕事を続けながらの受験勉強はげっして楽なことではありません。

仕事と勉強の両立はつらいことも多く、学習の継続は大変です。

しかし、それを乗り越え合格できる環境が日建学院にはあります。

日建学院で学び合格できた喜びを一人でも多くの方々に経験していただきたい。

この業界のトップランナーとして駆け続けたこれまでとともに、

創業者の想いを受け継ぎ、これからも社会に貢献できる企業であり続けるため、

頑張る人々を全力でサポートし続けます。



代表取締役

馬場 栄一

1992年3月 早稲田大学 理工学部 建築学科 卒業

1992年4月 大成建設株式会社東京支店 入社

(現場管理)東京:恵比寿ガーデンプレイス建築工事ほか

大阪:泉大津ポートタワー建築工事ほか

* 在職中に一級建築士／一級建築施工管理技士 取得(日建学院 通学)

2000年1月 株式会社建築資料研究社入社

2000年4月 住宅事業本部 本部長

2002年4月 学院本部 本部長

2007年5月 営業本部 取締役

2007年7月 代表取締役社長 就任

現在に至る

安定した高い合格実績

昭和、平成、そして令和も… ゆるぎない合格への道 「日建学院」

あなたの頑張りを後押しする、あなたを確実に合格に導く
時代を超えてもなお、ゆるぎない実績が私たちの誇りです。

総合満足度
顧客満足度 **No.1**

建築士講座



- リポート満足度
- 使用教材の満足度
- カリキュラム充実度
- 価格の満足度

- 設備体制学習環境の充実度
- 職員の対応サポート力
- 担当者の最適なコース提案力
- 感染対策の満足度

日本マーケティングリサーチ機構 調査概要:2021年9月期 顧客満足度調査



日建学院の母体である建築資料研究社は、建設業界向けの資料集や書籍、専門誌などを50年以上発行している出版社。建設業に携わる事業所には、必ずそれらの市販書が置かれているはず。



日建学院

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------------------------|---|------------------------------------|--|---|---|---|--------------------------|--------------------------|------------------|---------------------------------|-------------------|--------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1969年 | 1970年 | 1972年 | 1973年 | 1975年 | 1976年 | 1977年 | 1979年 | 1980年 | 1982年 | 1983年 | 1989年 | 1990年 | 1995年 | 2002年 | |
| 株式会社建築資料研究社設立 | 「積算ポケット手帳」創刊
「住宅関係原図資料集」制作・発売 | コンピュータによる「建築構造計算システム」開発
出版事業開始「庭園雑誌」創刊 | 講座制作・発売
コンピュータによる「建築構造計算システム」開発 | 建築雑誌「住宅建築」創刊
カセットテープによる「建築士養成講座」制作・発売 | 「日本建設実務学院（現 日建学院）」創設
東京校（1校目・池袋）開校
「1級/2級建築士学科・設計製図講座」開講（対面授業でスタート） | 本社内に映像講義制作専用スタジオ・編集室設置
「日本建設実務学院（現 日建学院）」創設
東京校（1校目・池袋）開校 | 基本建築基準法関係「法令集」（オレンジ本）創刊
本社内に映像講義制作専用スタジオ・編集室設置 | 「日建新聞」創刊
「日建学院」60校目開校 | 学校法人実務学園設立（東京日建工科専門学校）開校 | シリーズ書籍「建築設計資料」創刊 | 日建学院100校目開校
シリーズ書籍「建築設計資料」創刊 | インテリア雑誌「コンフォルト」創刊 | （株）建設産業振興センター設立に参加 | （社）全国建設業協会と提携し、ケンWebスクール」開設 | Webオンライン学習システム「ニッペンWebスクール」開設 |

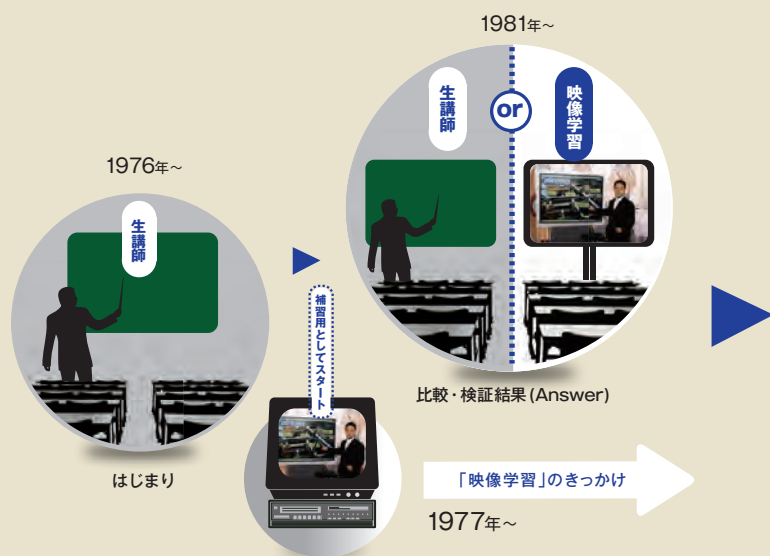
なぜ日建学院は「映像学習」なのか？

生講師による講義からスタートした日建学院。より高い成果、効率的な学習方法を求めて試行錯誤するなかで、「映像学習」の講義スタイルという選択肢が現れました。試験的導入の結果、合格率の高い「映像学習」を選択。歴然の差の前に、「映像学習」の効果を突きつけられたこと。映像一筋で比類ない実績を出し続ける日建学院の原点です。

ここが違う!!

よそ 他の映像とは違う! 日建学院の映像

一般的な映像講義とは、教室の後ろから定点撮影した映像を編集したものです。日建学院の高合格率を支える最高品質を追求する映像は、最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、完全オリジナル撮影・編集。講義時間の数倍の時間をかけ、CG やアニメーション等も盛り込んだ頭と心に残る映像だから違いが出ます。



全員合格を目指すなか、「欠席者も含め、全員合格して欲しい」という思いから補講 VTR を制作。

その後、全国展開するなかで、各校の講師のレベル差が合格率の差となって表れました。そこで、講師のレベル較差をなくし安定した高い合格率を求め「映像学習」の講義スタイルにする教室が増えていきます。

STEP.1 会議



合格に直結する映像をめざしクオリティをとことん追求

最新の試験情報、業界動向を徹底的にチェック&精査し、試験に必要な知識をいかにわかりやすく、覚えやすく盛り込むかを相談します。講師だけでなく教材制作者や試験分析官など、各分野のプロが意見を出し合い、内容を細部まで緻密に丁寧に決めていきます。

STEP.2 撮影



各分野のカリスマ講師が全受講生に最高の講義を提供

それぞれの分野を、一番得意とする講師が担当。内容はもちろん映像としての質にもこだわり、実際の講義の数倍もの時間をかけて撮影します。映像講義で想像しがちな、どこかで行われた講義を撮影しておいて、他の場所でも流すというものではありません!

Answer 生講師の教室と「映像学習」の教室の受講生を比較すると、

合格率が平均的に 10%高い実績！

合格にこだわるため、受講生の声と合格実績から「映像学習」を選択。
全国一律の圧倒的な講義力で今に至ります。

1989年～



合格にこだわる選択「映像学習」の講義スタイルへ

1998年～



クオリティを追求し続ける

「つまずきやすい」が「わかる」に変わる。

文章ではイメージしにくい内容などは、実写映像、コンピュータグラフィック、アニメーションなど、理解するために最適な表現方法で映像化。質問の多い箇所やテストで正答率の低い箇所は「よりわかりやすい」映像表現を求めて、毎年、進化を続けています。「つまずきやすい」を「わかる」に変えるまで工夫を重ねた映像講義だから「よくわかる」「疑問が残らない」と好評です。

映像の学習効果は脳科学でも立証。

人間の脳には日々、膨大な情報が入ってきます。これを脳の海馬という器官が取捨選択し、海馬が選んだ情報だけが脳に送られ、記憶として保管されるのです。脳科学の世界では、文字や聴覚だけの情報に比べ、映像情報のほうが海馬の記憶に残りやすいと言われています。試験の本番中に「講義で見た映像がよみがえった」。毎年、多くの受講生から聞く声です。

STEP.3
編集



CGやアニメ等も盛り込みながら 頭と心に残る映像への仕上げ

講師が解説するだけでなく、現場の映像、イラストやCG、アニメーションなどを多用。一番わかりやすい手法を採り入れながら編集します。最新機器を完備した自社のスタジオ&編集室での一貫制作だからこだわり放題。最新情報の追加なども自由自在です。

STEP.4
完成



さらに!!

アドバイザー講師が いるから安心!!



映像講義後に、その場で 質問に答える講師がいます

映像講義への不安といえば「ただ映像が流れるだけ」「わからないことがあっても質問できず、そのまま」…。もちろん、そんなことはありません。講義の際に常駐する講師が疑問をその場で解決して前に進めます。

日建学院が誇る講師陣

毎日が勉強なのは講師も同じ。
合格祝賀会で出会う笑顔がなによりのやりがい。

濱崎 好宏

日建学院が誇る建築士のカリスマ講師。テンション高めのアクションと、すべての受講生を絶対に合格させるという熱い想いが詰まった講義が好評。



YOSHIHIRO HAMAZAKI

合格できたらうれしい それは受講生だけでなく 講師やスタッフも同じ

教材のレベルをどこに設定するか。どんな人を対象にするのか。教材の絶妙なレンジを調整することが、受講生の合格率を上げることにつながる。難しいことだからこそ、常に意識して心がけていることです。人に教える人間は、日々、勉強しなければなりません。休むことなく継続して努力する。だからこそ合格祝賀会で受講生の皆さんの笑顔を見ると、自分のことのようにうれしいのです。それは全国の日建学院のすべての講師やスタッフに共通する気持ちだと思います。

勉強を継続する難しさを 誰より理解できるから さらなる進化した講義へ

私自身、日建学院にお世話になって1級建築士の試験に合格しました。22年前のことです。そのころの映像講義といえば、文字情報の講義でしたから、縁あってここに入社した私が最初に取り組んだのが、ビジュアル情報、ビジュアル講義への移行でした。前職が現場監督だったので、工事現場の写真を集め、必要に応じて現場ロケを行って、試験問題で何が問われているのかを、写真や映像で解説している、実際の映像で表現できないものは、アニメーションやCGを制作して、よりわかりやすい教材を目指しました。最近では、ドローンを使った撮影なども採用し、機器の高性能化と日々の研究や経験により、さらに記憶に残るクオリティの高い映像講義が実現しています。

国が発する本試験という メッセージを わかりやすく伝える

私たちは、国家資格である建築士試験の問題をリスペクトしています。国が受験生に発するメッセージだととらえ、そのメッセージを受け取ること。つまり問題の本質を理解して受験対策をすることが資格取得の早道といえるでしょう。やみくもに暗記するのではなく、理解して解答する。そのために、難しい国からのメッセージをわかりやすく伝え、それに応えるための揺るぎない知識を身につけられるよう、日建学院は指導しサポートしていきます。日建学院からの日々のメッセージを受け取り、使い倒して、国からのメッセージである本試験に伝えていってください。

具体的に伝わる 言葉を心がけ 苦手は根本的解決を目指す

心がけているのは、決めたターゲットにわかりやすい教材や講義を届けられているかを常に自問自答すること。感覚的な言葉を用いることなく、具体的に提示できるような内容を考えています。同時に、なぜできないのか、どうして苦手になるのかを分析して、根本から原因を解決できる教材を届けたいと思っています。受講生の成績アップにつなげるためには、さらに苦手要因を突き詰めて考え、講義や教材をブラッシュアップしていかなければなりません。それは大変なことですが、やりがいでもあります。「先生の話聞いて気合いが入った」「あの言葉を聞いて、あきらめずに頑張ってみようと思った」などという声を聞くことができると、本当にうれしく「この仕事をしていて良かった」と感じます。

体験すればわかる 数字で成果が証明されている 映像講義の威力

映像講義に関しては、慣れないうちは多少の戸惑いを感じる受講生もいるようです。けれど慣れてしまえば絶対的な効果が合格率という結果として保証されています。コロナ禍にも問題なく対応できた。それによって、誰にとっても、どんな状況でも学びやすいことが証明されたわけです。私も担当している設計製図のように、映像講義と生講義の併用もあります。ビジュアル化が有効な部分は映像で。直接指導したほうがいいことは生講義で。適材適所でハイブリッドを駆使し、最大限わかりやすく成果を出す講義を提供しています。というわけで、いいことだらけの映像講義なのですが、生放送は何度経験しても慣れませんね。解答速報などをYouTubeで生放送する際は、毎回とても緊張しています(笑)。

ベストな答案でなくても大丈夫 ベストを尽くせる環境は 用意しています

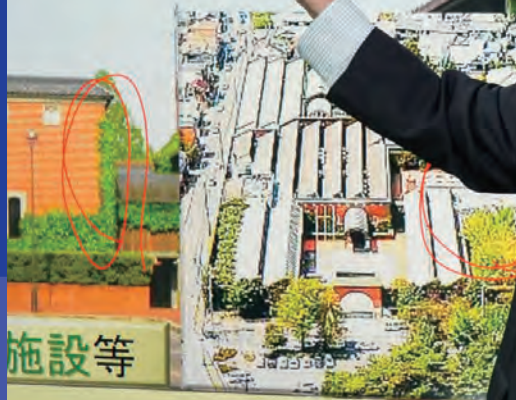
日建学院は数居が低く、笑いも散りばめられた講義は楽しく印象深い。「やっぱり挑戦してみようかな」と思える資格学校であり、「合格を目指せる」と思える講義や教材を提供できていると、そんなふうに自負しています。勉強そのものは「楽しい」「面白い」というものだけではないのも事実。だからこそ、わかりやすい教材と一緒に頑張る仲間、支えてくれるスタッフがいて、やるべきことが明確であればモチベーションを保ちやすくなります。日建学院はそのためにあります。一緒に合格に向けて勉強しましょう!

「今日から試験への準備を始めよう」 と思わせるメッセージを届けたい。

椎名 毅

実例建物に精通した計画講師。もっとも多くの受験生と接してきた経験は合格方法の最高辞書。逆引き方式・スパイラル方式等の合格アドバイスは必見。

敷アイビースクエア
(岡山県倉敷市)



TAKESHI SHIINA

本づくりのプロが生み出す

オリジナル教材

日建学院の母体は、建築分野の市販書籍を出版する建築資料研究社。読者に支持されるノウハウが教材づくりに注がれます。最新情報を迅速に盛り込み、親しみやすく、わかりやすいことはもちろん、ちょっとした空き時間や移動中など、シーンごとの使いやすさにもこだわっています。



一般専門書籍

設計、施工、法規からインテリアや資格参考書まで、建設関連書籍を発行し続け50年以上。母体の建築資料研究社は出版社としての定評があります。

詳しくはこちらから！



分かりやすいと評判！ ビジュアルを多用し理解を促進！

イラストや図・表・写真などをトータルで1000点以上使用した、受験生目線の見やすく使いやすいテキストです。施工現場や構造力学における力の伝わり方などをイメージできるようにビジュアル面も重視。初めて建築士試験を受験する人にもわかりやすい表現で解説しています。

第5章 土工事・基礎地業工事

4. 場所打ちコンクリート杭地業

あらかじめ、地盤を掘削し、削孔された孔内に鉄筋かごを挿入し、コンクリートを打込むことによって、現場で造成する杭地業をいう。

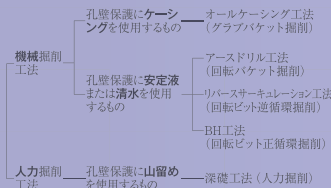
1) 特徴

建設工事の大型化、高層化に伴い、大口径で長尺の杭を低騒音、低振動で築造できる。

2) 問題点

- ① 杭先端及び周辺地盤のゆるみ
- ② 孔壁崩壊の懸念
- ③ 管理ミスによるコンクリートの品質低下
- ④ スラ임沈積による支持力の低下

3) 工法の分類



場所打ち杭3工法の特徴

	オールケーシング工法	アースドリル工法	リバースサーキュレーション工法
掘削	ハンマーグラブを落下させ、落下エネルギーにより地盤内に貫入させて、地盤を破砕掘削する	自重および油圧により加圧した状態で、ドリリングバケットを回転させて掘削する	ビットの回転により地盤を破砕掘削する
排土	ハンマーグラブの引上げによる	バケットの引上げによる	水と一緒に吸い上げる
孔壁・孔底の崩壊防止	全層ケーシングを用いるが、地下水位以下の砂、れき層では水を入れる	表層部にケーシングを入れ、比重の高い安定液を孔内に満たす	表層部にケーシングを入れ、孔内の水位を地盤の水位より2m以上高く保つ
孔底沈殿物(スラ임)の量	孔内に水を入れた場合でも少ない	多い	少ない



鉄筋かご



場所打ちコンクリート杭地業
(鉄筋かごの挿入)

◀安定液：孔壁保護を主に目的とする溶液で、通常、ベントナイト溶液が使用される。



オールケーシング工法

必要なポイントをコンパクトに表現！

覚えるべきポイントや必要な知識をわかりやすい図表的確に解説しています。

バッグンの効果!書き込み式学習法!

各説明の右側には、できる限りの余白を取りノート欄として活用できるよう工夫がされています。予習・復習・試験前と合格に必要な知識を効率よく学習できるよう考え抜いた構成になっています。

出題頻度が一目で分かる!

出題頻度が高い項目には、過去の出題回数や出題年度を明記。問題番号や出題年度は「問題解説集」にも記載してリンクさせることで、テキストの学習内容を実際の試験問題で再認識できます。

第5章 土工事・基礎地業工事

4) オールケーシング工法 出題：R03-07

次の図のように、特殊なケーシングチューブを挿動（回転・圧入しながら、ハンマーグラブパケットをケーシング内に落下させて、内部の土砂を掘削・排出したあと、ケーシング内に鉄筋かごをそう入し、コンクリートを打込みながらケーシングを引抜いて杭を作る工法である。

5) アースドリル工法 出題：R03-07

次の図のように表層ケーシングを建て込み、安定液を注入しながら、土砂の掘削・排土をロッド回転式のバケット（ドリリングバケット）によって行い、掘削完了後、鉄筋かごをそう入して、トレミー管を用いてコンクリートを打込み、杭を作る工法である。掘削にあたっては、孔壁保護のための安定液としてベントナイト ◀ベントナイト：微細粘土で、水をト溶液を用いる。また、底部にたまったスライムは除去する。吸収していちじるしく影響する。

1章
2章
3章
4章
5章
6章
7章
8章
9章
10章
11章
12章
13章
14章

— 125 —

難解なワークフローを一発理解!

文章だけではわかりにくい建築工程の流れを、細部にまでこだわったイラストと写真で解説。実際の映像講義ともリンクしており、本試験でも記憶が蘇ると評判です。



問題解説集

主に自宅学習で使用する応用力養成のための基本書です。過去10年間の本試験問題を、現行法令・基準等に基づき、講義カリキュラムに沿って再編集しました。常時携帯し、予習・復習に活用してください。



受験対策テキスト

合格する為の基本書です。講義及び自宅学習（予習・復習）で常に使います。過去の本試験に出題された事項については出題年度・問題番号を掲載し、出題頻度を明示しています。出題頻度の高い事項は確実に把握するようにしましょう。



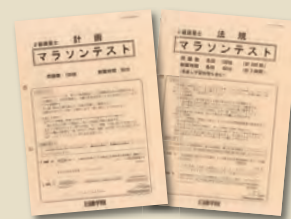
基本建築基準法関係法令集

本試験に持ち込める唯一の教材で合格する為の基本書です。常に傍らに置いて、くり返し条文を引いて活用してください。



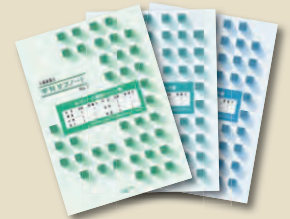
重要条文ポイント

本試験に出題される関連条文は、700条を超えるほど数多くあります。特に出題頻度の高い重要条文を厳選し、効率よく学習できるように編集したポイント集です。



各種テスト

各講義の終了時にテストを実施して、理解力を深めます。そのほか、宿題用テストや小テスト、各種模擬試験など、さまざまなオリジナルテストを用意しています。



サブノート

完全攻略講義や自宅学習で使用する副教材です。過去に出題された重要な設問枝から構成され「穴埋め式」「選択式」「記述式」の問題形式で学習の優先順位が明確になります。

一目瞭然の試験分析データ

目的地が決まっても、自分が今いる場所が把握できていなければ、進むべき道もわかりません。

受講生の熱い支持を集める試験分析データで、各科目の習得度や現状のレベル、苦手分野などの詳細がはっきりします。

今からなにをどうすれば一番効率的か、やるべきことが明確に。日建学院の試験分析データの一部をご覧ください。

試験分析① ▶▶▶ 令和4年度「過去問題」年代別枝数

	1～5年前	6～10年前	11年以上前	その他(新規)	合計
令和4年	194	137	66	103	500

Check! **11年以上前の「過去問題」も多く出題されています!**

試験分析② ▶▶▶ 過去10年間の「問題分類」年代別比率

分類	過去問題 <small>過去に出題された問題。語尾の変更等がある場合でも題意の変わらない問題</small>	類似問題 <small>過去問題をベースに手直しされた問題。過去問の知識で対応可能な問題</small>	応用問題 <small>過去問題をベースに手直しされた問題で更に内容等を広く深く作られた問題</small>	新規問題 <small>過去に出題されたことのない問題</small>
平成/令和				
平成/25年	54.5%	11.4%	5.8%	28.3%
26年	61.6%	12.7%	1.2%	24.5%
27年	53.0%	20.5%	0.2%	26.3%
28年	65.3%	7.6%	1.4%	25.7%
29年	67.3%	8.2%	4.6%	19.8%
30年	73.2%	4.6%	7.2%	15.0%
令和/元年	61.8%	7.2%	12.8%	18.2%
2年	59.6%	14.8%	8.0%	17.6%
3年	55.4%	15.8%	8.8%	20.0%
4年	52.8%	17.6%	8.0%	21.6%
平均	60.5%	12.0%	5.8%	21.7%

Check! **いま使用している過去問題集は、「何年分」ですか?**

「過去問題」学習だけでなく
「受験テキスト」での学習も必須!



「過去問題」を早い時期に仕上げる!
「応用対策」に取り組む余力時間をつくる!



試験分析③ ▶▶▶ 「法改正」情報 過去10年間の法改正に関わる問題

※試験出題年度以降の法令及び各種基準の改正を受けた問題

※下記「問題」は、当学院の毎年「現行法」に改訂した問題集より引用した内容一覧です。

学科Ⅰ [計画]

No.	問題	年度・問	正解番号	難易度	分類	項目
1	8	H29-04	2	A	第1章	気候 室内環境
2	29	H25-06	2	B	第2章	伝熱・結露 伝熱(計算問題)
3	49	H30-09	3	A	第4章	音響 音響
4	52	H27-09	3	A	第4章	音響 音響
5	165	H29-17	4	A	第14章	計画一般 高齢者等への配慮
6	167	H27-17	2	B	第14章	計画一般 高齢者等への配慮
7	169	H25-18	4	A	第14章	計画一般 高齢者等への配慮
8	206	H30-14	4	A	第17章	公共建築 教育施設等
9	212	H28-14	2	A	第17章	公共建築 文化施設等
10	216	H28-15	5	B	第17章	公共建築 医療・福祉施設等

学科Ⅱ [法規]

No.	問題	年度・問	正解番号	難易度	分類	項目
1	6	H26-01	2	A	第1章	総則 用語の定義
2	7	H25-01	3	A	第1章	総則 用語の定義
3	15	H28-02	2	A	第1章	総則 手続き(確認済証の交付等)
4	16	H27-02	4	A	第1章	総則 手続き(確認済証の交付等)
5	17	H26-02	1	A	第1章	総則 手続き(確認済証の交付等)
6	27	H26-03	2	A	第1章	総則 手続き(融合・その他)
7	45	H26-05	3	A	第2章	一般構造等 一般構造等融合・その他
8	63	H29-07	3	B	第3章	構造強度 構造計算(構造強度融合 含)
9	77	H30-19	5	A	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
10	78	H29-17	4	A	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
11	79	H28-19	4	A	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
12	80	H27-19	5	C	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
13	81	H26-19	2	A	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
14	82	H25-19	1	B	第4章	防火関係 防火地域、準防火地域内
15	84	R02-09	3	B	第4章	防火関係 防火区画等
16	85	H30-09	5	B	第4章	防火関係 防火区画等
17	86	H29-09	2	A	第4章	防火関係 防火区画等
18	87	H28-10	2	A	第4章	防火関係 防火区画等
19	88	H27-10	5	A	第4章	防火関係 防火区画等
20	89	H26-10	3	A	第4章	防火関係 防火区画等
21	90	H25-11	2	B	第4章	防火関係 防火区画等
22	91	R03-11	5	B	第4章	防火関係 内装制限
23	92	R02-11	5	A	第4章	防火関係 内装制限
24	93	R01-11	4	A	第4章	防火関係 内装制限
25	94	H30-11	4	B	第4章	防火関係 内装制限
26	95	H29-11	3	A	第4章	防火関係 内装制限
27	96	H28-11	5	A	第4章	防火関係 内装制限
28	97	H27-11	4	A	第4章	防火関係 内装制限
29	98	H26-11	2	A	第4章	防火関係 内装制限
30	99	H25-09	1	A	第4章	防火関係 内装制限
31	102	R01-10	5	A	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
32	103	H30-10	3	A	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
33	104	H29-10	3	A	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
34	105	H28-09	3	A	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
35	106	H27-09	4	B	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
36	107	H26-09	1	B	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
37	108	H25-10	1	C	第4章	防火関係 避難規定(避難安全検証法 含)
38	114	H28-12	1	B	第5章	都市計画区域等の制限 道路・壁面線
39	141	H26-16	4	B	第5章	都市計画区域等の制限 容積率(延べ面積の最高限度等)
40	142	H25-15	2	A	第5章	都市計画区域等の制限 容積率(延べ面積の最高限度等)
41	144	H30-15	3	A	第5章	都市計画区域等の制限 建蔽率(建築面積の最高限度等)
42	146	H27-15	2	A	第5章	都市計画区域等の制限 建蔽率(建築面積の最高限度等)
43	174	H30-20	4	A	第6章	雑則等 雑則等
44	175	H29-20	4	A	第6章	雑則等 雑則等
45	177	H27-20	2	B	第6章	雑則等 雑則等
46	178	H26-20	5	B	第6章	雑則等 雑則等
47	180	H25-20	2	B	第6章	雑則等 雑則等
48	192	H26-21	3	A	第7章	その他の関係法令 建築士法(建築士)
49	200	H26-22	2	A	第7章	その他の関係法令 建築士法(建築士事務所)
50	203	H29-23	1	A	第7章	その他の関係法令 品確法
51	204	H30-23	1	A	第7章	その他の関係法令 長期優良住宅促進法
52	205	H25-25	5	C	第7章	その他の関係法令 長期優良住宅促進法
53	219	H27-24	2	A	第7章	その他の関係法令 その他の関係法令融合

学科Ⅲ [構造]

No.	問題	年度・問	正解番号	難易度	分類	項目
1	62	H30-08	1	A	第7章	荷重・外力 風圧力
2	76	H30-09	4	A	第8章	地盤・基礎構造 地盤・基礎構造
3	86	H29-20	1	A	第9章	木構造 木材・木質系材料
4	89	H26-20	2	A	第9章	木構造 木材・木質系材料
5	157	H30-23	1	C	第11章	鉄骨構造 鋼材
6	180	H25-17	4	A	第11章	鉄骨構造 接合部
7	189	H25-13	4	A	第12章	その他の構造 補強コンクリートブロック造
8	198	H29-18	2	A	第13章	構造設計 構造設計
9	199	H29-19	1	B	第13章	構造設計 構造設計
10	200	H28-18	1	A	第13章	構造設計 構造設計
11	220	H28-25	1	A	第14章	建築材料 材料融合その他

学科Ⅳ [施工]

No.	問題	年度・問	正解番号	難易度	分類	項目
1	2	R02-25	3	A	第1章	工事契約 請負契約
2	3	R01-25	2	B	第1章	工事契約 請負契約
3	4	H30-25	4	C	第1章	工事契約 請負契約
4	5	H29-25	2	A	第1章	工事契約 請負契約
5	7	H27-25	4	B	第1章	工事契約 請負契約
6	8	H26-25	4	A	第1章	工事契約 請負契約
7	9	H25-25	3	C	第1章	工事契約 請負契約
8	17	H29-01	5	A	第2章	工事監理・施工業務 ネットワーク工程表
9	26	H25-04	3	A	第2章	工事監理・施工業務 安全衛生管理
10	46	R02-07	2	C	第3章	地盤調査・測量 地盤調査
11	69	R01-11	4	B	第6章	鉄筋コンクリート工事 鉄筋工事
12	70	H30-11	3	A	第6章	鉄筋コンクリート工事 鉄筋工事
13	73	H27-09	1	A	第6章	鉄筋コンクリート工事 鉄筋工事
14	98	H29-11	5	B	第6章	鉄筋コンクリート工事 コンクリート工事(その他)
15	100	H28-11	1	B	第6章	鉄筋コンクリート工事 コンクリート工事(その他)
16	114	H28-13	5	C	第7章	鉄骨工事 鉄骨工事
17	116	H27-13	1	B	第7章	鉄骨工事 鉄骨工事
18	124	H28-14	4	B	第8章	コンクリートブロック工事・外壁パネル工事 コンクリートブロック工事・外壁パネル工事
19	136	H30-15	5	B	第9章	木工事 木工事
20	146	H25-15	4	C	第9章	木工事 木工事
21	170	H28-18	5	C	第12章	タイル・張石工事 左官・タイル・石工事融合
22	171	H27-18	4	C	第12章	タイル・張石工事 左官・タイル・石工事融合
23	181	H26-19	5	A	第13章	塗装工事 塗装工事
24	186	H30-20	1	A	第15章	内装・断熱工事 建具・ガラス・内装工事融合
25	188	H28-20	4	B	第15章	内装・断熱工事 建具・ガラス・内装工事融合
26	192	R03-22	1	C	第16章	改修工事 改修工事
27	222	H28-24	5	B	第19章	積算 積算
28	224	H26-24	1	A	第19章	積算 積算

Check!

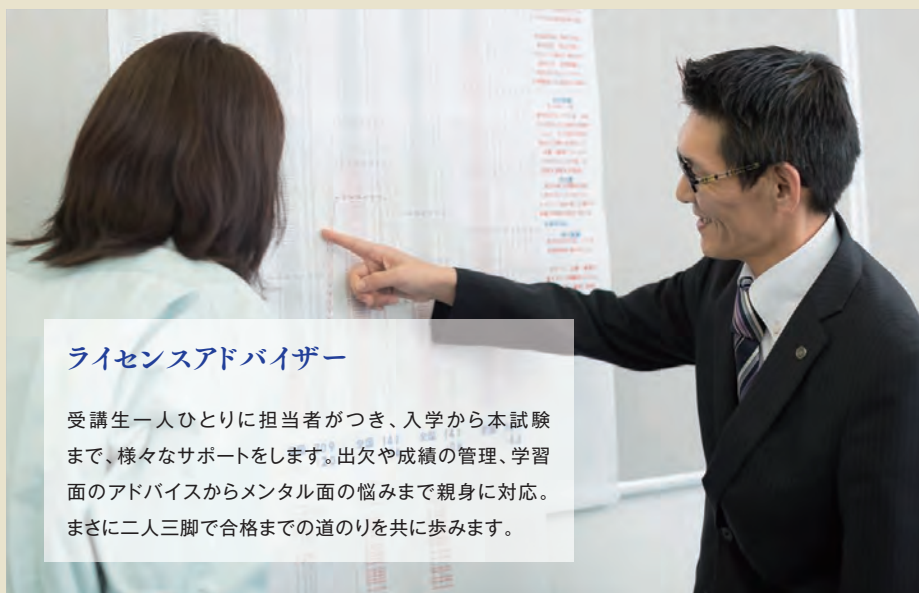
いま使用の教材は「現行法」に改訂されたものですか？

日建学院では、「新規問題」はもちろんのこと、11年以上前の過去問題も教材制作に活用しています

万全のサポートシステム

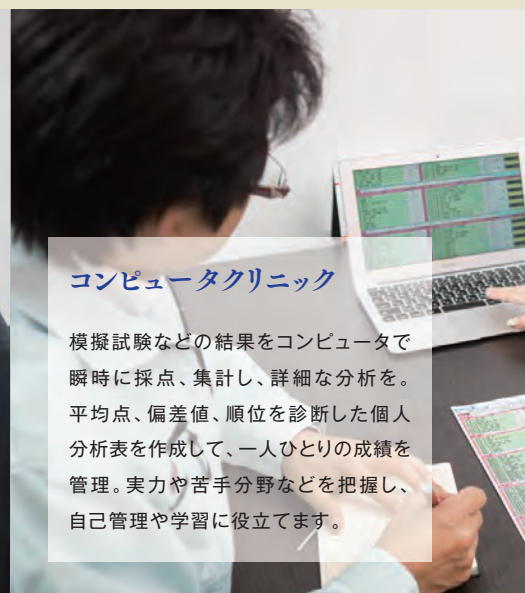
合格までの道のりを支えきる。そのために、学習面のサポートはもちろんのこと、
厳しい受験期間に遭遇するさまざまな迷いや不安にも、共に立ち向かいます。

二人三脚で歩む担当パートナー。急な出張や転勤にも即対応する日建学院のネットワーク。
学習を続けやすい、効果が出せるサポート体制です。



ライセンスアドバイザー

受講生一人ひとりに担当者がつき、入学から本試験まで、様々なサポートをします。出欠や成績の管理、学習面のアドバイスからメンタル面の悩みまで親身に対応。まさに二人三脚で合格までの道のりを共に歩みます。



コンピュータクリニック

模擬試験などの結果をコンピュータで瞬時に採点、集計し、詳細な分析を。平均点、偏差値、順位を診断した個人分析表を作成して、一人ひとりの成績を管理。実力や苦手分野などを把握し、自己管理や学習に役立てます。

何でも相談、合格まで二人三脚で親身にサポート

自分のレベルを的確に



聴講サポート

出張などで、いつもの通学校で受講できない場合も安心です。事前に予約すれば、全国の主要校の教室で聴講することが可能。全国どこの教室でも同一講義を行っているので、学習進度が異なる心配もありません。



全国一斉、同一講義だから、出張や転勤時も安心

万が一の欠席も心配なし、



ライブサポート

講義での疑問点、テストの解答で納得が得られない点など、質疑専門のアドバイザー講師が受講生の質問に丁寧に解答します。日頃の学習方法や受験の心構え、悩みごとなど、メンタル面のフォローもお任せください。

講義にはアドバイザー講師が常駐、学習面も受験相談も



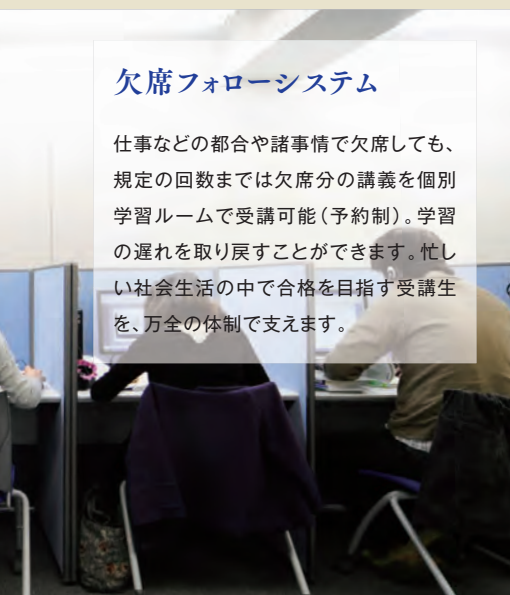
質問対応システム

講義や自宅学習、テキストやテストなどで疑問や不明点を感じたら、質問対応システムを活用。専門メール対応なので気軽に質問できます。わからない点は放置せず、早めに解決することが合格への近道です。



詳細に把握し、弱点克服へ

疑問や不明点はメールでその都度解決



欠席フォローシステム

仕事などの都合や諸事情で欠席しても、規定の回数までは欠席分の講義を個別学習ルームで受講可能(予約制)。学習の遅れを取り戻すことができます。忙しい社会生活の中で合格を目指す受講生を、万全の体制で支えます。



補習や自習にも使える個別ブース

日建学院の個別ブースは、全席パソコン設置です。周囲を気にせず自分のペースで補習や自習ができます。(予約制)

忙しい社会人をフォロー

個別ブースであなただけの学習環境を

大学生で合格！
将来は1級を取って親に恩返ししたい



2級建築士 合格 中尾 誠さん [大学生]

Q. どのような
学習スタイルでしたか？

学科はひたすら過去問を解き、分からない用語等があればその都度調べて、理解するまで問題を解きました。前に解いた問題は忘れてしまうので、勉強を習慣付け、継続して積み重ねることを意識していました。製図は毎日1図面以上描くことで作図力を向上させ、プランニングは課題をひたすら解いていました。

Q. 大学生での
2級建築士受験は
いかがでしたか？

学生で実務を積んでいないので、最初は専門用語が分からず苦労しました。ですが、いつも学生ばかりで社会人の方がいない昼間の開放教室を利用していると、まだ時間に余裕がある早い時期に資格を取得できて良かったなと思います。今後は1級建築士を取得して親を超えることで、恩返しできたらいいなと思っています。

Q. 日建学院は
いかがでしたか？

勉強しやすい環境でした。テキストは見やすく分かりやすかったし、講師の方も分かりやすく教えてくれました。映像講義は理解しやすくスラスラと進みます。一緒に勉強していた人たちと繋がりが深まったので、将来的にみんなと仕事で一緒になって「あの時はきつかったね(笑)」って話せたらいいなと思います。

「2級建築士」 合格者の声 02



2級建築士 合格 石森 絵里華さん [注文住宅会社勤務]

合格して資格の力を実感。
1級取得に向けて勉強しています

Q.いつから勉強を
始めましたか？

受験前年の12月くらいから。東日本大震災で被災した地元の復興に携わりたかったこと、建築が好き&いい家をつくってお客様に喜んでもらいたい気持ちで、早く資格を取ろうと決めていました。

平日は1日3時間、休日は10時間、週に30時間くらいを目標に学習していました。

Q.どんなペースで
勉強してきましたか？

水曜日の授業を中心に、木曜日は復習用宿題、金曜日に過去問、土曜日から月曜日まで予習、火曜日は不安な箇所の見直し。講義を休まないのはもちろん、わからないことは面倒がらずに解決すること、苦手を避けず理解しようとする、体調管理で無理をしすぎないことなどがけました。

Q.これから受験を志す方へ
メッセージを！

資格を取ってから会社で設計ができるようになり、お客様との打ち合わせなどでも自信をもって話せるようになりました。良いライバルがいることで私は頑張ることができましたから、できれば日建で友達をつくって切磋琢磨してください。私も1級の勉強、頑張ります。

高校卒業後
すぐに2級建築士に挑戦！



2級建築士 合格 野出 樹さん [大学生]

**Q. 日建学院は
いかがでしたか？**

映像講義がとても分かりやすかったです。暗記しなければならない数値も語呂合わせが出てきて頭に入りやすかったですし、課題やテストは難しかったです。解いていくうちに自分の成長が感じられて良かったです。また、週1回必ず通学があり、テストごとに平均点が出るため、周りの人がどの位置にいるのか分かり「負けないように頑張ろう」とモチベーションが上がりました。

**Q. 大学に入学して早々の
2級建築士勉強は
いかがでしたか？**

大学1年生から勉強していたので周りから「すごいね」と言われることも多く、「頑張ろう」と思えました。遊びたいという誘惑もありましたが、「一緒に勉強していた高校からの友達が大勢いたので、暗記の語呂合わせを考えあつて覚えるなど」「みんなで合格しよう」と頑張れました。今後は「1級建築士受験も考えていて、将来的には大きな商業施設や建物を作りたいなと思っています。」

**Q. これから受験を志す方へ
メッセージを！**

とにかく毎日継続して勉強することが大事だと思います。たとえ試験で不合格になつてしまつたとしても、まだ自由な時間が多い学生や社会人1〜2年目までなら何度も挑戦できると思います。皆さんも頑張ってください。



2級建築士 合格 池田 蒼生さん [建設会社勤務]

苦手だった製図
課題で学んだ内容を本番でも
うまく取り入れることができた

Q.いつから勉強を
始めましたか？

高校3年の11月頃から。受験資格の基準が変更され高校卒業後すぐに試験を受けられるようになったこと、高校に日建学院の案内ポスターが貼ってあって、友達と一緒に説明会に参加したことがきっかけで始めました。

Q.どんなペースで
勉強してきましたか？

高校生の時は、実は最低限しかしていませんでした。本格的に始めたのは社会人になってから。通勤時間を利用したり、帰宅後に1時間ほど勉強をしたりしていました。製図は学習期間が短いこともあり、特に苦手なエスキスは時間を区切って練習をするなどの工夫をしました。

Q.日建で良かったことは
何ですか？

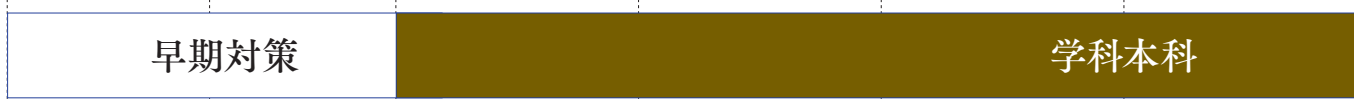
担当の方や製図の先生が話しやすい方ばかりで感じが良かったです。苦手だった製図も、基礎的な図面や本番に向けた何パターンもの課題をもらうことができたおかげで、そこで学んだ内容を本番でも取り入れることができました。

合格までの年間スケジュール

目標と、そこまでの道筋がわかっているから、まっすぐしっかりと歩いていける。
貴重な時間を計画的に効率よく使うためのカリキュラムが確立しています。

学科スーパー本科コース …… 学科本科コース (学科本科コースの) オプション

2024年度生	2023	2024
2025年度生	2024	2025
2026年度生	2025	2026



スーパー本科 **1 WEBオプション** 建築入門〈建築BASIC講義・建築のための数学〉基礎知識を学習

スーパー本科 **2 WEBオプション** 早期重点Web〈徹底検証ガイダンス・科目攻略講義〉本試験の検証と学習ポイント

特別研修会

養成アプローチ

- 力学 8回
- 法規 6回

理論講義

- 計画 6回
- 法規 8回

完全攻略講義

- 計画 3回
- 法規 4回

得点アップ
中間試験

スーパー本科 **3 WEBオプション** 完全

スーパー本科 **4 WEBオプション** ズバリ解説 疑問をすぐに解決！問題集の解説動画がすぐに視聴できるWebサポート

スーパー本科 **5 WEBオプション** 直前学習Web〈集中ゼミ講義〉各分野の重要ポイントを学習

スーパー本科 **6 WEBオプション** 設計スタートアップWeb 設計製図試験に向けての事前学習

学習形態

教室型 学習

日建学院各校にて決められた日時に一斉に学習するスタイルです。
複数の方と適度な緊張感で受講いただけます。

特長

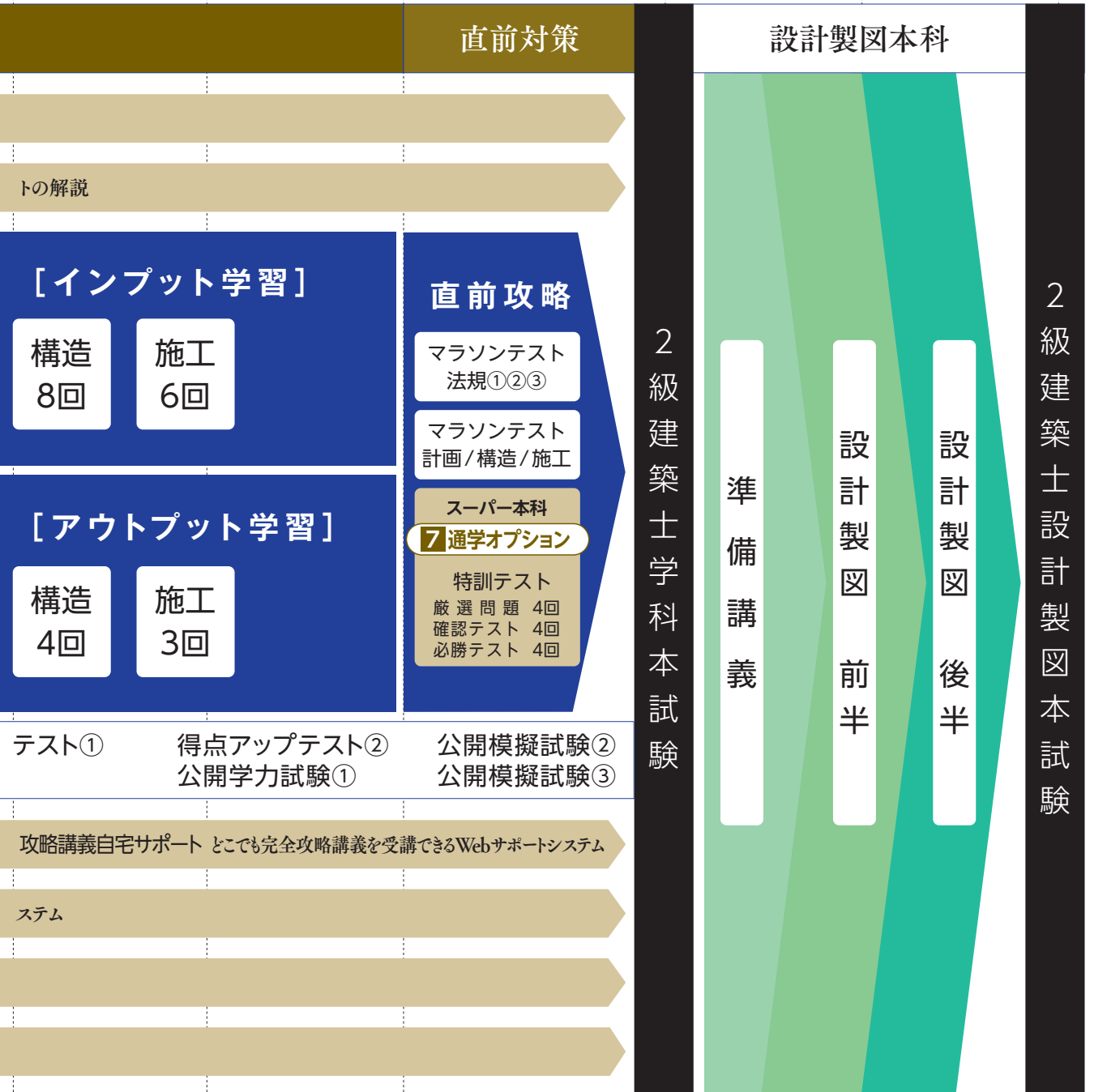
- 多人数制なので競争意識が芽生え学習意欲が高まる。
- 決められたスケジュールの中で効率的に学習が進められる。

Web 学習

教室型と同様の講義をインターネットを通じて学習するスタイルです。
学習したい時に日建学院が誇る「映像講義」を受講いただけます。

特長

- ライフスタイルに合わせて、自分のペースで学習が進められる。
- くり返し学習できるので、苦手科目の克服に最適。



※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

学科 講義内容

学科試験合格にこだわり、日建学院が提供できるすべての学習ツールを一つにした究極の学習カリキュラム。基礎から応用力の習得まで丁寧に網羅し、インプットとアウトプットのバランスの良い効率学習、知識の定着を図る反復学習などで一発合格を強力に支えます。

※配信・通学期間の表記について

- 前年…受験される年の前年
- 当年…受験される年

養成アプローチ講義 14回

[通学期間:前年12月中旬～当年1月下旬]

多くの受験生が理解するまでに時間を費やし、苦手意識を持ってしまふ分野である「構造力学」と「法規」について、基礎から確実に理解するための講義です。

力学 8回
(テスト5回)

教材 力学演習テキスト

法規 6回
(テスト5回)

教材 イラスト建築基準法

理論講義 28回

[インプット学習]

[通学期間:当年2月上旬～5月下旬]

基本から応用まで身に付けることができ、建築士試験に必要な知識を整理し、わかりやすく解説するメイン講義です。

計画 6回
(テスト3回)

教材 受験対策テキスト(4科目)、問題解説集(4科目)

法規 8回
(テスト4回)

構造 8回
(テスト4回)

施工 6回
(テスト3回)

完全攻略講義 14回

[アウトプット学習]

[通学期間:当年2月上旬～5月下旬]

答案練習形式でテストを実施後、ポイント解説にて重要項目の理解度を確認。出題傾向をつかみ完全攻略する講義です。

計画 3回
(テスト3回)

教材 サブノート

法規 4回
(テスト4回)

構造 4回
(テスト4回)

施工 3回
(テスト3回)

直前攻略

[最終追い込み学習]

[通学期間:当年6月上旬～6月下旬]

問題練習を中心とした追い込み学習です。本試験出題傾向の分析をもとに、出題頻度の高い分野を中心に、くり返しテストで、ご自身の弱点分野や得意分野を最終確認。試験直前の集中学習で、合格レベルへと実力を引き上げます。

マラソンテスト

法規①②③

マラソンテスト

計画/構造/施工

学力テスト

学科本試験までの学力チェックや学習目標を立てるために学習の達成度を確認するためのテスト。また本試験直前には全範囲の模擬試験を実施し最終確認を行います。

中間試験

得点アップテスト①②

公開学力試験 ①

公開模擬試験 ②

公開模擬試験 ③

- 47都道府県で実施する全国規模の模擬試験
- 予想問題を含むオリジナル問題
- 解答解説書は100問5枚全てに対応
- 個人分析表で弱点分野を確認

教育訓練給付金制度 対象指定講座

学科本科コース学費部分が対象経費です。

全国の各校では、教育訓練給付金制度を利用できない校もございます。認定校・公認スクールは提携校のため、教育訓練給付金制度を利用できません。対象教室につきましては、日建学院直営校にて入学時に配付する教育訓練給付金ご利用ガイドにてご確認ください。

受講形態

通学(教室型学習)/Web学習

※認定校(一部)・公認スクールでは取り扱っておりません。

学科本科コース学費 430,000円
(税込473,000円)

[通学期間:前年12月中旬～当年6月下旬]

合格バックアップシステム777(スリーセブン)

出席率 70%

宿題提出率 70%

公開模擬試験② 70%
正答率

2024年度2級建築士学科試験で万が一「不合格」となった場合、上記の基準条件を満たしていればAもしくはBのいずれかを選択できます。

A: 当年度学科本科コース学費の全額返金
B: 2025年度学科本科コースの無料受講

- ※Aを選択した場合、2024年度講座に関する各種受講料割引を利用することはできません。
- ※教育訓練給付金を受領した場合、Aを選択することはできません。
- ※試験制度に変更があった場合、基準条件に変更が生じる場合があります。
- ※諸条件、受講講座の詳細は当学院担当者へ必ずご確認ください。
- ※全国の各校では、合格バックアップシステムを導入していない校もございます。

学科スーパー本科(カリキュラム)

学科スーパー本科には学科本科の **オプションがすべて含まれます。**

1 WEBオプション

建築入門

50,000円
(税込55,000円)

[配信期間:前年 2月上旬~当年 学科本試験日]

建築BASIC講義

建築の基礎知識を学習します。

- 計画 6回 / 法規 2回 / 構造 4回 / 施工 4回
- 建築のための数学...11章

教材 建築BASICテキスト※Webアップ

2 WEBオプション

早期重点Web

100,000円
(税込110,000円)

[配信期間:前年 2月上旬~当年 学科本試験日]

徹底検証ガイダンス

前年の学科本試験問題を検証します。

- 1回

科目攻略講義

各科目の頻出項目を重点におき、効率的な学習ポイントを解説する講義です。

- 試験分析 1回 ●計画 / 法規 / 構造 / 施工...各1回

教材 ※受験される前年内の入学者は「分野別厳選問題」を配付

3 WEBオプション

完全攻略講義 自宅サポート

300,000円
(税込330,000円)

[配信期間:当年 2月上旬~学科本試験日]

毎週「理論講義」で学んだことを平日夜間に通学して復習する「完全攻略講義」について、どうしても出席できない時や、自宅で復習したい時などに、いつでもどこでもWeb環境があれば、「完全攻略講義」を受講、「攻略テスト」を実施できます。

Web上で学べる「補習システム」

4 WEBオプション

2級学科サポート 「ズバリ解説」

50,000円
(税込55,000円)

[配信期間:前年 2月上旬~当年 学科本試験日]

「ズバリ解説」は、問題集にある出題年度・番号をクリックするだけで解答枝までしっかり解説した映像講義が自動的にスタートします。疑問があればその場で解決！弱点補強や自主学習を強力にサポートする次世代の学習方法です。

Web上で学べる「合格サポートシステム」

5 WEBオプション

直前学習Web

100,000円
(税込110,000円)

[配信期間:前年 2月上旬~当年 学科本試験日]

集中ゼミ講義

各分野の要点ポイントを集中して学習します。

- 計画 1回 / 法規 2回 / 構造 2回 / 施工 1回

6 WEBオプション

設計スタート アップWeb

100,000円
(税込110,000円)

[配信期間:前年 7月下旬~当年 学科本試験日]

建築士になるには二次試験「設計製図」に合格しなくてはなりません。設計製図対策を早期にはじめるスタートアップ講義。「作図」「プラン計画」「計画の要点等(記述)」と求められる内容が増えた設計製図試験。学科試験後、設計製図試験日までの2ヵ月で全て詰め込むのは大変です。そこで、製図の概要や作図法の基礎を事前に学びます。

教材 設計製図基礎テキスト

7 通学オプション

特訓テスト

30,000円
(税込33,000円)

[通学期間:当年 6月上旬~ 6月下旬
:6月上旬~学科本試験直前の平日夜間]

- 厳選問題...計画・法規 2回 / 構造・施工 2回
- 確認テスト...計画・法規 2回 / 構造・施工 2回
- 必勝テスト...計画 1回 / 法規 1回 / 構造 1回 / 施工 1回

学科本科コース学費 : 430,000円
オプション総額 : 730,000円

オプション含む総額
1,160,000円
(税込1,276,000円)

受講形態

通学(教室型学習+Web学習) / Web学習
※認定校(一部)・公認スクールでは取り扱っていません。

学科スーパー本科コース学費 620,000円
(税込682,000円)

[通学期間:前年 2月上旬~当年 6月下旬]

※学科本試験は、2024年7月7日を想定しております。正式発表前につき、変更となる場合があります。
※カリキュラム・配信期間は法改正や試験分析により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

「スーパー本科」のココが凄い!

ご存じですか?こんな学習法!日建学院の「映像講義」だからできること!

①必要な知識を「映像で記憶」する! ②分かるところは「早送り」! ③難しいところは「リピート再生」! ④集中力を高める「倍速再生」!

「スーパー本科」ならWebで受講できるオプションが豊富!

いつでも、どこでも、何度でも視聴できるから、限られた時間を有効活用できる!学習効率上がる!

① WEBオプション 建築入門

② WEBオプション 早期重点Web

③ WEBオプション 完全攻略講義自宅サポート

④ WEBオプション 2級学科サポート「ズバリ解説」

⑤ WEBオプション 直前学習Web

⑥ WEBオプション 設計スタートアップWeb

⑦ 通学オプション 特訓テスト

「スーパー本科」が可能にするWeb上で学べる「補習システム」

③ WEBオプション 完全攻略講義自宅サポート

どこでも「完全攻略講義」が受講できる!

本講義の「理論講義」で学んだことを平日夜間に通学して復習する「完全攻略講義」。

どうしても今週は「完全攻略講義」に出席できない… 自宅でもう一度、「完全攻略講義」「攻略テスト」を復習したい…

そんな時でも、ご安心ください! Web環境があれば、どこでも「完全攻略講義」を受講、「攻略テスト」が実施できます!

完全攻略講義自宅サポートの特長

特長
1

スキマ時間を有効に
活用した学習ができる!

パソコン・スマートフォン・タブレットなど、多彩なモバイル環境で利用可能。

特長
2

学校以外でも「完全攻略講義」が
受講できる!

復習には「倍速再生」で受講し時短学習!



特長
3

学校以外でも「攻略テスト」が
受験できる!

採点ボタンを押すと瞬時に「採点結果」と「解答解説」が表示され見直し学習ができます!



日建学院サイト 2級建築士ページの
「映像講義体験版」より視聴してください。

まずは無料体験版へGO!



「スーパー本科」が可能にするWeb上で学べる「合格サポートシステム」

4 WEB オプション 2級学科サポート「ズバリ解説」

いつでも問題集の解答解説が、 動画で視聴できる！

問題集を解く上で大切なことは、ただ正解することだけではありません。
解答枝すべてを正しく理解できていないと本試験での得点には結びつかないのです。
日建学院の『ズバリ解説』は、ワンクリックで映像講義が自動的にスタートします。
解答枝までしっかり解説されているから疑問はその場で即解決！「わからない」をほっときません。



ズバリ解説の特長

特長
1

1編／約15分の論点編成だから、
短時間学習ができる！

特長
2

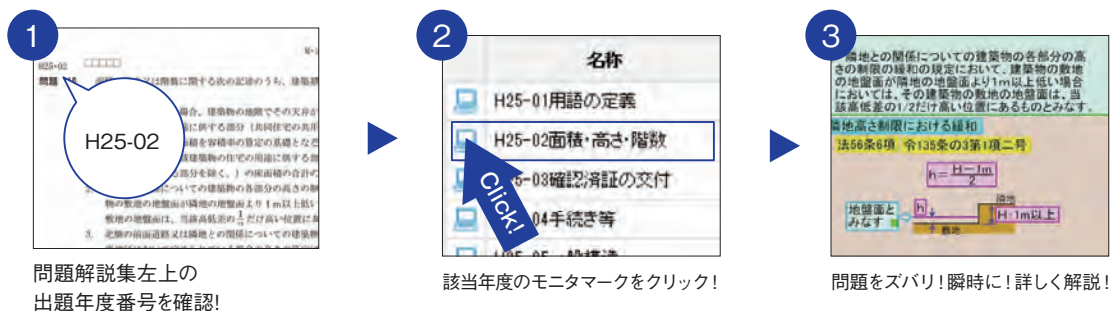
問題解説集の全問解説！

特長
3

通学講座で使用する教材を
そのまま利用できる！

ズバリ解説の流れ

ズバリ解説は、問題解説集の該当年度番号をクリックするだけで動画解説を瞬時に視聴できます。



「スーパー本科」には設計製図講座への特典もあります！！

2級建築士学科スーパー本科コースを受講し、学科試験に合格した場合には、
特別学費で同年度の2級建築士設計製図本科コースを受講いただけます。

2級建築士設計製図本科コース

通常学費

420,000円(税込462,000円)

2級建築士設計製図本科コース

特別学費

250,000円(税込275,000円)

さらに 日建学院では“**同時入学優遇制度**”を設けております。

同時入学優遇制度を利用され、2級建築士学科試験合格の折には、特別学費250,000円(税込275,000円)から、
さらに割引学費にて2級建築士設計製図本科コースを受講いただけます。
同時入学優遇制度についての詳細は、最寄りの日建学院各校までお問い合わせください。

「製図」も日建学院！

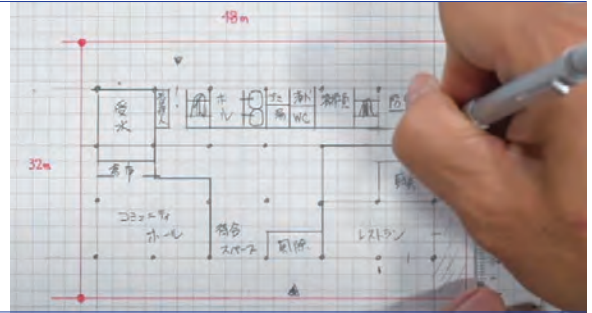
実務で日常的に図面を描いていても、試験に合格できない人がいます。

試験には、しっかりとしたスキルに加えて、おさえなければいけないポイントとコツがあります。

日建学院では、講師による徹底した添削指導と、映像講義で合格のための答案完成力を養成します。

理由
その1

映像だから！ プランニングが 分かりやすい！



設計製図試験において、**多くの方が悩むのが「プランニング」**です。

試験の時間制限がある中、課題文に沿った建築計画をどうやってプランニング＝設計図面のラフ案として下書きしていくか…。

最終的に「設計図面を描き上げる」ことはトレース(描き写す)していただくため、

この基になる「プランニング」が適切であるかどうかは設計製図試験の最大のポイントと言っても言い過ぎではありません。

しかしながら、試験元である建築技術教育普及センターより模範解答(図面)は公表されるものの、

その図面に行きつく「プランニング」や「解説」は公表されません。

つまり…その解答(図面)へのプロセス＝プランニングは「ブラックボックス」となっている点が、設計製図試験の最大の難しさなのです。

日建学院では、何を基準にどのような手順でエスキスを進めるのかという「設計製図試験のブラックボックス(曖昧な部分)」について、

誰でも理解しやすいよう映像化しています。だから「製図は日建」と評価されているのです！

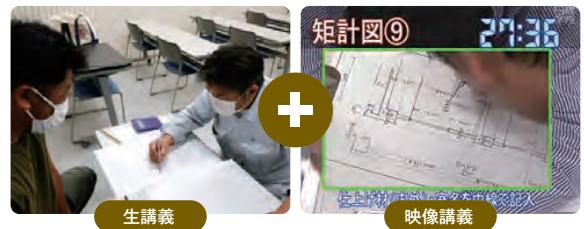
百聞は一見に如かず！まずは本試験課題を実際にプランニングしている映像をご覧ください！

映像はコチラから→



理由
その2

「生講義＋映像講義」 メリットを最大限に活用！



生講義

映像講義

だから日建の製図は合格するんです！

日建学院の製図講義は「合格至上主義」。

受講生全員を合格させるために到達した答えが「**生講義＋映像講義**」の製図講義です。

日建学院の製図講義は、受講生1人1人にきめ細やかな指導をするために、**受講人数に合わせて講師を配置します。**

1人の講師が受け持つ受講生が少ないので、講師が受講生の理解度に合わせて質問への対応や個別指導を徹底することができます。

一方で、基礎的な部分や記憶に残さなければならない部分は、**各分野の経験豊富な講師**が全受講生に最高の講義を提供する

ために「映像講義」で行います。最新鋭の設備と技術を誇る自社スタジオで、講義時間の数倍の時間をかけ、

CGやアニメーション等も盛り込みながら制作した頭と心に残る映像だから違いが出ます。

生講義と映像講義のメリットを最大限に取り入れた「合格するための講座」が日建学院の製図講座なのです！

理由
その3

「分析し練り上げられた課題」 のみで本試験はOK! オプションは不要!



多くの建築・建設実務者が愛用している「設計資料集」、実はこの書籍を発刊しているのは日建学院の母体である建築資料研究社です。

設計資料のプロである日建学院の**設計製図試験対策課題数は2級17課題** ※(2級建築士設計製図本科コース)。

当年度の課題・予想される出題内容をしっかりと分析し、厳選された製図課題を作成しています。

この課題数は当初からカリキュラムに含まれており、**直前期にオプション等で別費用が発生することはありません。**

むやみやたらに「別費用＝オプション講座」などで多くの課題をこなすのではなく、日建学院の厳選された課題のみをしっかりと演習していれば、本試験では必ず「日建でやったな」という内容が出題されるはずです!

理由
その4

「短時間で効率的」に 最短距離で 合格を目指す!



日建学院の製図講座は標準で78時間 ※(2級建築士設計製図本科コース)。他講習機関と比べると少ないかもしれません。

これは「生講義＋映像講義のメリットを取り入れた講義」**「当年度課題を正確に分析し作成された課題」**があるから短い時間でも効率的に学習することが可能なのです。

生講義で当日の課題演習に取り組み、不明点は自宅で映像講義を見て復習する。

日々のお仕事と製図試験学習とのバランスを考え、「短時間で効率的」合格できるのが日建学院の製図講座です!

理由
その5

「試験に合格」 するための対策講座!



近年の設計製図試験は「大幅減点(ランクⅢ)」「失格(ランクⅣ)」が増加傾向です。

2020年度からの建築士法改正による受験者増加で、**この傾向はさらに強まると想定されています。**

日建学院ではこのような「大幅減点や失格」を防ぐために、自己チェック能力を高める「チェックリスト」を作成し、本試験受験の際に**「重大な条件違反」を自ら防げるようトレーニングします。**

また、設計製図試験は学科試験と違って「明確な正解・不正解」が分かりづらい試験です。

だからこそ日建学院では**「添削指導」を重要視しています。**

ポイント網羅のオリジナル教材

経験と実績が送り出す最強の教材が、講師の指導を最大限に有効化!

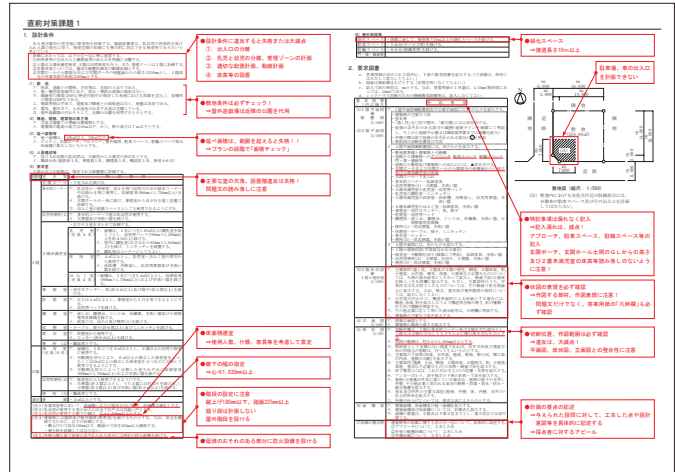
一般書籍編集のノウハウと、設計製図試験を知り尽くした分析力、使い勝手にまでこだわったバラエティゆたかなラインナップ。

日建学院だからつくれる教材が、合格のための答案力を強力にバックアップします。

課題のポイント

ココがポイント

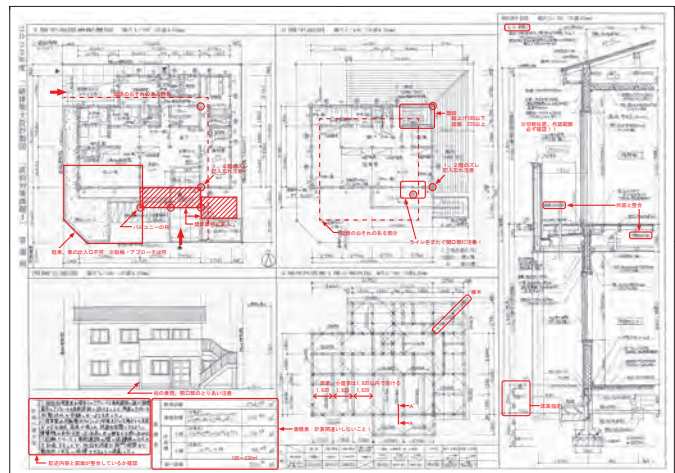
課題文を読み解く事が、合格のために必須なこと!とわかっている、文章を読むだけでは、なかなか「文章読解力」は身につけません。そこで、日建学院では課題文の読み取りポイントをまとめた教材をご用意しています。「設計条件」や「作図条件」の押さえておきたいポイントを講師直筆の赤書きで、わかりやすく記述!課題文を読み取り、エスキス完成までの流れを確実にイメージできる力を身につけます。



作図のポイント

ココがポイント

課題ごとに参考答案例を配付しますが、ただ完成された答案例だけでは、その中でどこがポイントか何に注意すれば良いか、なかなか理解できません。そこで、日建学院では、参考答案例の中にある、押さえておきたいポイントを、講師チェックと同様の赤書きにて、わかりやすく記述した教材をご用意しています。ご自身の答案を見直す際に効果を発揮し、効率よく、確実な作図を行う力が身につきます。



基礎テキスト

製図試験の基礎知識・図面表現・作図手順を2色刷でわかりやすく解説した教材。イラスト・立体図で、建物の構造・設備も無理なく理解できます。



問題&答案集

過去問題から出題傾向を把握し、実践トレーニングで実力を養成。過去12年分の問題文・答案例及び課題テーマの整理・分析を収録しています。



受験テキスト

本年度課題のポイント・注意点及び、基本知識から出題課題の特徴など、課題に即した傾向と対策を網羅した決定版テキストです。

■ 制作者のこだわり

講師のアドバイスが
的確に効率的に届くよう
教材にも工夫を重ねる

教材制作責任者・講師 高杉 雅彦



よりよい教材とプロ講師陣の熱血指導で
合格できる製図が見える、作れる



日建学院の製図課題予想は当たると評判です。建築士試験を知り尽くしたプロが意見をぶつけあい、全力で作上げるのですから当然のことかもしれません。ただし、私たちは予想を当てること自体を目的にはしていません。どんな課題が出ても自信をもって作図できる、揺るぎない合格力の養成。その目的を果たすために、講師陣と共に最大限効果的な指導法について研究を重ね、持てる知識と経験のすべてを注いで、よりよい教材を生み出し続けているのです。

設計製図 講義内容

“疑問と弱点”に即応し“実力”を高めるフレキシブルな合格指導体制を実現！

実績に裏付けされた日建学院のノウハウが合格へと導きます。

■ 2級建築士設計製図本科コース カリキュラム

▶ 準備講義

	講義内容	宿題・提出課題
受験準備講義	映像講義 ・試験の概要・木造の基本 ・製図の基礎 ・平面図スピードアップ製図法 (4時間) ●解説及び実習(個別指導)	—

▶ 前半 [48時間]

回数/時間	講義内容	宿題・提出課題
1 8時間	映像講義 ・オリエンテーション ・発表課題の検討講義 ・設計製図の基本事項 図面別解説及び実習 ■ 演習課題1 [平面図] 図面別解説及び実習 ■ 演習課題1 [立面図]	■ 早期対策課題2
実習講義1	・ 矩計図の作図手順 (3時間)	—
2 8時間	映像講義 ・ 演習課題1 (問題文の読み取り、プランニングの手順) 図面別解説及び実習 ■ 演習課題1 [矩計図]	■ 演習課題1
実習講義2	・ 床伏図の作図手順 (3時間)	—
3 8時間	図面別解説及び実習 ■ 演習課題1 [床伏図] 映像講義 ・ 演習課題2 (プランニングの考え方) 実習 ■ 演習課題2 [プランニング、平面図、床伏図完成]	■ 演習課題1 [一式図]
実習講義3	■ 演習課題2 [一式図作成] (3時間)	—
4 8時間	実習 ■ 演習課題3 [プランニング、一式図完成] 映像講義 ・ 演習課題3 (プランニングの考え方)	■ 演習課題2 [一式図] ■ 床伏図練習課題
実習講義4	■ 演習課題3 [模擬プラン作成] (3時間)	—
5 8時間	実習 ■ 模擬試験 [一式図完成] 映像講義 ・ 模擬試験解説 ・ 模擬解説 (模擬試験結果の解説及び講評、まとめ)	■ 演習課題3 [一式図] ■ 模擬プラン完成
6 8時間	実習 ■ 演習課題4 [プランニング、一式図完成] 映像講義 ・ 演習課題4 (プランニングの考え方)	■ ステップアップ課題1 [一式図]
実習講義5	■ ステップアップ課題2 [プラン作成] ■ ステップアップ課題3 [プラン作成] (3時間)	—
個人クリニック	※日時及び内容については、後日事務局より連絡	—

▶ 後半 [30時間]

回数/時間	講義内容	宿題・提出課題
1 8時間	実習 ■ 特訓課題1 [プランニング、一式図完成]	■ ステップアップ課題2 [一式図] ■ ステップアップ課題3 [一式図]
2 3時間	映像講義 ・ 合格するための課題対策1 実習 ■ 特訓課題2 [プランニング]	—
3 3時間	実習 ■ 特訓課題3 [プランニング]	—
4 8時間	特訓模擬試験 ● 応用問題によるプランニング練習 ・ 模擬試験解説、講評	■ 特訓課題3 [一式図]
5 3時間	映像講義 ・ 合格するための課題対策2 実習 ■ 特訓課題4 [プランニング]	—
6 3時間	実習 ■ 直前対策課題 [プランニング] ・ 直前対策課題によるまとめ	—
7 2時間	・ 課題の整理、質疑応答 ・ 試験における注意事項説明	—
	教育訓練給付金制度 修了試験 ※該当の方はWeb受験 (30分)	—
本試験	2級建築士 設計製図本試験	
特別講義	・ 本試験課題検証講義 ・ 本試験プラン検討 (2時間)	—

※カリキュラムは試験分析・設計課題により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

2級建築士設計製図本科コース

通常学費

420,000円 (税込462,000円)*

※2級建築士学科スーパー本科コースを受講し、学科試験に合格した場合には、特別学費で同年度の2級建築士設計製図本科コースを受講いただけます。詳細につきましては、[27ページ](#)をご覧ください。

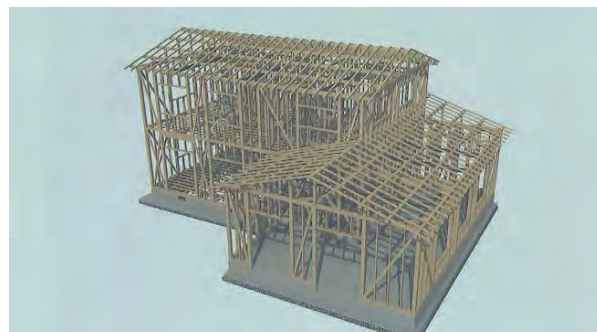
■ 設計製図Webサポート

通学で学習する映像解説を講義日程に合わせて順次配信!

インターネットがつかえる環境があれば、自宅や職場、外出先などでも、学習したい時に、いつでもどこでも何度でも、映像講義の視聴が可能です!

配信期間:7月中旬～設計製図本試験日まで

回数	講義内容(参考)	
受験準備講義	・試験の概要・木造の基本 ・製図の基礎 ・平面図スピードアップ製図法	約50分 約30分 約45分
サポート講義	・プランニングの進め方ー実践編ー ・立面図スピードアップ製図法 ・矩計図スピードアップ製図法 ・伏図の基礎 ・床伏図スピードアップ製図法 ・一式図スピードアップ製図法	約50分 約20分 約50分 約30分 約35分 約55分
前半1映像講義	・オリエンテーション ・発表課題の検討講義	約30分 約60分
前半2映像講義	・演習課題1 解説(問題文の読み取り、プランニングの手順)	約60分
前半3映像講義	・演習課題2 解説(プランニングの考え方)	約40分
前半4映像講義	・演習課題3 解説(プランニングの考え方)	約40分
前半5映像講義	・模擬試験解説	約60分
前半6映像講義	・演習課題4 解説(プランニングの考え方)	約40分
後半2映像講義	・合格するための課題対策1	約60分
後半5映像講義	・合格するための課題対策2	約60分



※カリキュラムは試験分析・設計課題により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

合格へ導く!

7つの
必勝POINT

POINT 1 日建式合格プラン

オリジナル教材が充実。プランニングから答案完成まで徹底した合格指導を行います。

POINT 2 2ステップチェック方式

課題提出状況と内容を常に確認し、プランニングと完成図の各段階でチェックを行う2ステップチェック方式を実施。課題の読解力アップが見込めます。

POINT 3 徹底課題分析

過去・当年の本試験課題を詳細に分析。あらゆる諸条件を想定し、厳選した問題を用意することで、プランニングから一式図まで完成させるスキルを伸ばします。

POINT 4 オリジナル教材

試験を熟知した経験豊富な一流講師陣が作り上げたオリジナル教材は合格のためのポイントが詰まっています。

POINT 5 少人数制個別指導

ポイントを中心に減点の少ない合格図面の完成を目指すため、講義は少人数制の個別指導を取り入れています。

POINT 6 SSS (受講生専用映像講義配信システム)

教室で受講した映像講義がSSSで視聴できます。これにより、自宅学習の効率アップが見込めます。

POINT 7 教室開放サポート

講義時間外でも常時教室を開放しているので、納得するまで自習可能です。
※一部、例外校があります。

「2級建築士」を目指すあなたへ

日建学院がこだわる「映像学習」が無料体験できます。
最寄りの日建学院各校事務局へお気軽にお問い合わせください。

無料体験入学

日建学院では体験入学を随時開催しています。最寄りの各校までご連絡の上、気軽にご参加ください!

ご予約



最寄りの日建学院に電話連絡の上、体験入学日時を決定。

お申し込み



「無料体験入学申込書」にご記入ください。

受講



体験講義の教材をお持ちになり受講スタート。

webの無料体験版へGO!

日建学院サイト2級建築士ページの「映像講義体験版」より視聴してください。

スマホでGO!



受講に必要な動作環境

Web講座は、規定の接続環境・動作環境を満たしていなければ受講することができません。受講を予定されている各端末で「無料体験版」のテスト・動画などが正常に動作されるかご確認ください。日建学院ホームページより、受講生専用⇒無料体験版・動作環境でご確認いただけます。
<https://www.ksknet.co.jp/nikken/guidance/check2/>

動作確認は
コチラから→



講座申込方法



ご来校から手続き

- ① お近くの日建学院へご来校ください。
- ② 担当者が申込み手順の詳細をご説明します。
- ③ 申込み後、入学手続き
- ④ 入学手続き完了→受講開始

全国学校案内は
コチラから→



Webから手続き

- ① 以下より、日建学院ホームページにアクセスしてください。
 - ② 仮申込みフォームより、仮申込み登録確認まで完了してください。
 - ③ 申込金の入金後、担当者から入学手続きに関するご連絡をいたします。
 - ④ 入学手続き
(残金のお支払いや、コースによっては面接等)
 - ⑤ 入学手続き完了→受講開始
- ※ホームページから直接お申込みのできるコースもございます。

Web申込は
コチラから→



Webから受講相談

- ① 以下より、ホームページにアクセスしてください。
- ② 相談方法(来校・電話・オンライン)を選択
- ③ 希望の日時を選択
- ④ 希望される講座、受験予定年・回数を選択
- ⑤ 個人情報を登録
- ⑥ 質問事項を入力後、日建学院担当者から選択された相談方法にて、ご相談内容の回答をいたします。

受講相談は
コチラから→



日建学院コールセンター



0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋 2-50-1 受付 / AM10:00 ~ PM5:00 (土・日・祝日は除きます)

日建学院 本校教室一覧

北海道・東北地区

札幌 ☎ 011-251-6010
苫小牧 ☎ 011-251-6010
旭川 ☎ 0166-22-0201
青森 ☎ 017-774-5001
弘前 ☎ 0172-29-2561
八戸 ☎ 0178-70-7500
盛岡 ☎ 019-659-3900
水沢 ☎ 0197-22-4551
仙台 ☎ 022-267-5001
秋田 ☎ 018-801-7070
山形 ☎ 023-622-5100
酒田 ☎ 0234-26-3351
郡山 ☎ 024-941-1111

北陸地区

新潟 ☎ 025-245-5001
長岡 ☎ 0258-25-8001
上越 ☎ 025-525-4885
富山 ☎ 076-433-2002
金沢 ☎ 076-280-6001
KIT前教室 ☎ 076-293-0821
福井 ☎ 0776-21-5001

関東地区

水戸 ☎ 029-305-5433
つくば ☎ 029-863-5015
宇都宮 ☎ 028-637-5001
小山 ☎ 0285-31-4331
群馬 ☎ 027-330-2611
太田 ☎ 0276-58-2570
大宮 ☎ 048-648-5555
川口 ☎ 048-499-5001
川越 ☎ 049-243-3611
所沢 ☎ 04-2991-3759
朝霞台 ☎ 048-470-5501
南越谷 ☎ 048-986-2700
熊谷 ☎ 048-525-1806
千葉 ☎ 043-244-0121
船橋 ☎ 047-422-7501
成田 ☎ 0476-22-8011
木更津 ☎ 0438-80-7766
柏 ☎ 04-7165-1929
新松戸 ☎ 047-348-6111
浦安 ☎ 047-397-6780
池袋 ☎ 03-3971-1101
新宿 ☎ 03-6894-5800
上野 ☎ 03-5818-0731
新橋 ☎ 03-6858-4650
吉祥寺 ☎ 0422-28-5001
立川 ☎ 042-527-3291
八王子 ☎ 042-628-7101

東海地区

北千住 ☎ 03-6850-0120
町田 ☎ 042-728-6411
武蔵小杉 ☎ 044-733-2323
横浜 ☎ 045-440-1250
厚木 ☎ 046-224-5001
藤沢 ☎ 0466-29-6470
山梨 ☎ 055-263-5100
長野 ☎ 026-244-4333
松本 ☎ 0263-41-0044
静岡 ☎ 054-654-5091
浜松 ☎ 053-546-1077
沼津 ☎ 055-954-3100
富士 ☎ 0545-66-0951
名古屋 ☎ 052-856-0631
北愛知 ☎ 0568-75-2789
岡崎 ☎ 0564-28-3811
豊橋 ☎ 0532-57-5113
岐阜 ☎ 058-216-5300
四日市 ☎ 059-349-0005
津 ☎ 059-291-6030

近畿地区

京都 ☎ 075-221-5911
福知山 ☎ 0773-23-9121
滋賀 ☎ 077-561-4351
梅田 ☎ 06-6377-1055
なんば ☎ 06-4708-0445
枚方 ☎ 072-843-1250
堺 ☎ 072-228-6728
岸和田 ☎ 072-436-1510
橿原 ☎ 0744-28-5600
奈良 ☎ 0742-34-8771
神戸 ☎ 078-230-8331
姫路 ☎ 079-281-5001
和歌山 ☎ 073-473-5551
田辺 ☎ 0739-22-6665

中国地区

岡山 ☎ 086-223-8860
倉敷 ☎ 086-435-0150
福山 ☎ 084-926-0570
広島 ☎ 082-223-2751
岩国 ☎ 0827-22-3740
山口 ☎ 083-972-5001
徳山 ☎ 0834-31-4339
松江 ☎ 0852-27-3618
鳥取 ☎ 0857-27-1987
米子 ☎ 0859-33-7519

四国地区

松山 ☎ 089-924-6777
西条 ☎ 0897-55-6770
高松 ☎ 087-869-4661
高知 ☎ 088-821-6165
徳島 ☎ 088-622-5110
長崎 ☎ 095-820-5100
佐世保 ☎ 0956-88-2060
大分 ☎ 097-546-0521
中津 ☎ 0979-25-0002
熊本 ☎ 096-241-8880
宮崎 ☎ 0985-50-0034
延岡 ☎ 0982-34-7183
都城 ☎ 0986-88-4001
鹿児島 ☎ 099-808-2500
沖縄 ☎ 098-861-6006
うるま ☎ 098-916-7430
名護 ☎ 0980-50-9115
※2023年01月29日現在

九州地区

北九州 ☎ 093-512-7100
天神 ☎ 092-762-3170
博多 ☎ 092-233-1156
久留米 ☎ 0942-33-9164
大牟田教室 ☎ 0944-32-8915
佐賀 ☎ 0952-31-5001

日建学院 認定校

日建学院 認定校

日建学院 公認
スクール

日建学院 公認スクール

受講者の生活スタイルは様々です。できることならば通学時間は短いほうがいい。そんな思いで「日建学院認定校」と「日建学院公認スクール」を全国に開校しています。「日建学院認定校」では建築士と土木施工管理技士を中心に運営、「日建学院公認スクール」でも多くの講座を運営しています。提供される講座は、本校と同じカリキュラム、同じ教材でクオリティの高い授業が提供されます。日建学院ホームページの全国学校案内からあなたの近くの日建学院をお探しください。

講座一覧

※認定校及び公認スクールでは取扱講座が異なりますので詳しくは最寄り校へご確認ください。

建築関連講座

1級建築士学科・設計製図
2級建築士学科・設計製図
インテリアコーディネーター(一次・二次試験)
建築設備士
構造設計1級建築士

不動産関連講座

宅地建物取引士
賃貸不動産経営管理士
管理業務主任者
土地家屋調査士
測量士補

建設関連講座

1級建築施工管理技士
2級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
2級土木施工管理技士
1級管工事施工管理技士
2級管工事施工管理技士
1級造園施工管理技士
2級造園施工管理技士
給水装置工事主任技術者
第三種電気主任技術者試験過去問題
1級エクステリアプランナー
2級エクステリアプランナー
コンクリート主任技士
コンクリート技士
CPDS認定

税務・ビジネス・介護・福祉関連講座

2級ファイナンシャルプランナー(AFP)
3級ファイナンシャルプランナー
日商簿記2級
日商簿記3級
秘書検定3級・2級・準1級筆記試験対策Web
2級建設業経理士Web
福祉住環境コーディネーター2級
介護福祉士

実務関連講座

構造計算関連

就職・スキルアップ関連講座

JW-CAD
Auto-CAD
DRA-CAD
建築CAD検定試験2級試験対策Web
建築CAD検定試験3級試験対策Web
初心者のためのOffice入門Web
SPI試験対策
中国語能力初級/中級

職業訓練

介護職員初任者研修
介護福祉士実務者研修 通学

法定講習一覧

(株)日建学院 実施

- 建築士定期講習
- 建築技術者講習
- 宅建登録講習
- 評価員講習会
- 宅建実務講習
- 第一種電気工事士定期講習

日建学院のホームページ
はこちらから▶



担当者コード

最寄り校

建築資料研究社 日建学院

お問合せ・資料請求・試験情報

日建学院コールセンター



0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付 / AM10:00~PM5:00 (土・日・祝日は除きます)

印刷コード:230628to-to230208nk

変化に強い。

ゆるぎない合格への道